

テーマ

武道の伝統性について考える

Thema

A Consideration of Budo Culture

天理大学 教授

講師 **湯浅 晃**

Yuasa Akira

剣道専門分科会会長

司会 **大保木 輝雄**

Ooboki Teruo

筑波大学 教授

司会 **酒井 利信**

Sakai Toshinobu

平成28年 **9月8日** (木)

入場無料

剣道専門分科会の
会員以外の方も参加できます

14:00~15:30 (予定)

皇學館大学

7号館2階721教室

戦後に限らず近代以降、「武道」の復活と振興のキーワードは「伝統」であったように思う。「日本文化には伝統がある」、「伝統はすばらしきものである」、「伝統文化こそ日本人のふるさとであり、心の原点である」。だからこそ、「伝統を守り、次代に伝える責務がある」など、郷愁をもって訴える言説に支えられて武道は存続してきた感がある。

では、「そのように訴える人は、はたして本当に伝統を承け継いでいるのか?」、「伝えようとしている伝統を、そのまま次代の人々に承け渡してよいものであろうか?」、「そもそも、伝統とは何なのか?」、これらの問いについて、剣道専門分科会の皆さんと共に考えてみたいと思う。